

妻ヶ丘中学校だより

令和5年4月12日 校長 深江 祐史

いよいよ令和5年度が始まりました。4月10日の入学式で176名の1年生を迎え、全校生徒603名(2年生202名、3年生225名)で妻ヶ丘中がスタートします。

妻ヶ丘中は、前年度までの実績を受け継ぎ、今年度もさらなる充実を図って参ります。妻ヶ丘中の教育目標は「主体的に学び、心ゆたかに、たくましく伸びる生徒の育成」です。どうぞよろしく願いいたします。

始業式が行われました

4月7日の始業式で3名の生徒に「新学期の抱負」を述べてもらいました。

新2年代表の榎田美如さんは、春休みにゆるんでしまった①生活リズムを改善したい。また、②テスト勉強を計画的に実行したい③「どうせ無理・・・」という考えを払しょくし、簡単にあきらめないようにしたい。

新3年代表の市太希さんは、立志の集いから心境に変化があったようで①積極的に授業に臨みたい。また入試まで1年を控えているので②休日の過ごし方を改善したい。一日一日を大切にしたい。

生徒会代表の西村翠さんは、今後、コロナへの対応が大きく変わっていく中で、変化を前向きに受け止め、生徒会がリードして、生徒1人一人がお互い助け合って様々なことにさらにチャレンジしていきたい。

発表は、リモートではなく、壇上で行われましたが、3名からは非常に前向きな姿勢を感じました。またその内容は、自分への決意にも聞こえました。どうぞ今の気持ちを大切にこの1年頑張ってもらいたいと思います。

その後、私からも、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

さて、中学校生活のスタートにあたり、皆さんに対する私の願いを話したいと思います。私は、皆さんにこんな妻ヶ丘中生になってもらいたいと思っています。もちろんそのことは、皆さんが今後、目標にしてほしいことです。

一つ目は、「自立」です。皆さんがこれから、私たち大人が経験していない先行き不透明な社会を切り開いていくためには、自分の頭で考え、判断し、そして行動できる力を身に

つけていかなければなりません。これから自分で何ができるかをしっかり考えて、正しいと思ったことは、具体的な行動として見せてください。

ただ「自立」とは何でも一人でやらなければならない・・・というわけではありません。「自立」とは、多くの人に適切に依存すること。つまり「自立」とは、単に孤立することではなく、かといって特定の人や物に依存するのでもなく、自分を保ちながら自分の足で立って自分の頭で考えることができる、ということだと理解してください。

二つ目は、「感謝」です。皆さんがこれから自立していくためには、多くの人との関わりが必要です。そして、「自分が分かるようになった」「自分ができるようになった」背景には、いろいろな人との関わりのおかげであるという感謝の気持ちを持ってほしいと思います。「ありがとう」という言葉が素直に言えるような妻中生になってください。

三つ目は、「貢献」です。自分ができるようになって、ありがたいと思ったら、次は、自分に何かできることはないかという気持ちが生まれると思います。感謝の気持ちをボランティアや奉仕活動など、「貢献」という具体的な行動として現してください。

この中には、自分にできることは何かを考え、それを実践している生徒がいます。何か、誰かに貢献し、喜んでもらえた時、きっとまたひとつ成長した自分に出会えるはずで

す。「徳は孤ならず、必ず隣あり」（とくはこならず、かならずとなりあり）です。徳のある行為（人）には、必ず理解者や協力者が現れるという意味です。勇気をもって、仲間を信じて行動していきましょう。

新年度のスタートに際し、私の願いをお話ししました。いよいよ、新3年、新2年ですね。みなさんにとって、素晴らしい1年間になることを祈っています。頑張ってください。

どうぞよろしく願ひいたします

今年度、新たに12名の職員が妻ヶ丘中に赴任しました。職員一同、力を合わせて頑張りたいと思います。今年1年、どうぞよろしく願ひいたします。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ・上徳 浩太郎 教頭 三股町立三股中より | ・浅田 肇 先生 高崎中より |
| ・黒木 由美子 先生 日南市立吾田中より | ・竹内 圭子 先生 高崎中より |
| ・山崎 美智代 先生 五十市中より | ・岩満 進 先生 五十市中より |
| ・牧 俊行 先生 新規採用 | ・矢野 良平 先生 新規作用 |
| ・神野 文賀 先生 | ・永留 青空 先生 |
| ・蕨野 朝美 先生 高城小より | ・長友 麻衣子 先生 山之口中より |